

日本原子力学会 核燃料部会  
令和 6 年度第一回運営小委員会議事録

日時：令和 6 年 5 月 2 日（木）13:30～15:25 於 WEB 会議(Webex)

出席者：尾形部会長，逢坂副部会長，渡部副部会長，阿部委員，有馬委員，宇田川委員，内川委員，長内委員，川本委員，樽松委員，黒崎委員，佐藤委員，澤委員，左右田委員，園田委員，鶴田委員，中居委員，樋口委員，松永委員，森本委員，長嶺（記）

議事：

0. 開催挨拶

運営小委員会開催にあたり，尾形部会長からご挨拶をいただいた。

また，今期から新委員となった有馬委員，長内委員，中居委員からご挨拶をいただいた。

1. 前回議事録等の確認（資料 1）

前回（令和 5 年度第四回）議事録は，確認済みであり，配布のみ。

2. 令和 6 年度核燃料部会業務分担について（資料 2）

長嶺から，令和 6 年度核燃料部会業務分担について説明した。

3. 令和 5 年度収支実績と令和 6 年度予算について（資料 3）

長嶺から，令和 5 年度の収支実績及び令和 6 年度予算案について紹介した。  
なお，前回運営小委員会報告と同じ内容であることを補足した。

4. 企画小委員会の概要について（資料 4）

逢坂副部会長から，本年 4 月 22 日に開催された企画小委員会について，説明された。

尾形部会長から，TopFuel2026 の準備状況について資料 4 をもって運営小委員会に報告としたいとの説明があった。また，尾形部会長から，TopFuel2026 の対象分野を軽水炉燃料以外（高速炉燃料及び新型燃料など）にも拡大すると  
の基本方針について説明があり，運営小委員会として了承した。今後，  
TopFuel2026 組織委員会および共催となる欧・米・韓・中の原子力学会にも説明して，基本方針として了承を得ていく。

5. 2024 年春の年会における学会講演賞の選考について（資料 5）

樽松委員から，受賞者の選考案が示され審議した結果，提案とおり東京都市  
大学・樽見氏，JAEA・Afika 氏，電中研・中森氏を選定することで了承された。

また，樽松委員から講演賞の複数回受賞者への対応に関して，奨励賞への応募を促す文面案の説明があり，文面案について特段異論はなかった。

6. 2024 年度夏期セミナーについて（資料 6）

宇田川委員から、2024 年度夏期セミナーの検討状況が報告された。予算については参加人数を保守的に見積もっていること、未確定の講演者についても確定の見込みであること、開催案内については大型連休以降展開していくことが共有された。また、講演賞の表彰式は 2 日目のポスター審査結果発表と同時に実施することが確認された。

尾形部会長から、運営小委の委員の方々はできるだけセミナーに参加するようにしましょう、との呼びかけがあった。

7. 2024 年秋の大会における核燃料部会企画セッションについて（資料 7-1, 7-2）

佐藤委員から、企画セッションの検討状況が報告され、提案書内容について了承された。5 月 15 日期限で学会事務局に提出する（それまでに講演者が決まれば記載のうえ提出する）。

8. 核燃料ロードマップのローリングについて（資料 8）

阿部委員から、核燃料ロードマップの第 2 回ローリング WG の立ち上げ趣意書について説明があり、WG 立ち上げについて了承された。WG メンバーは軽水炉関係者以外にも拡大する方針である。

9. IAEA-TWGFPT 参加報告について（資料 9）

逢坂副部会長から、本年 4 月 16 日～19 日に開催された IAEA-TWGFPT の参加報告があった。

10. 核燃料部会報について（資料 10）

川本委員から、核燃料部会報 No. 59-2（2024 年 5～6 月発行予定）の進捗について紹介された。

11. その他

尾形部会長より、TopFuel2026 の組織委員会の立ち上げにあたり、組織委員候補者、実行委員候補者及び委嘱状案について、後日メールにて通信審議し、運営小委員会の手承を得ることが紹介された。

次回、令和 6 年度第二回運営小委員会は、令和 6 年 8 月 30 日（金）13 時 30 分から WEB 開催することとした。

以 上